

経済消防委員会活動実績等について
(平成 27 年 12 月～平成 28 年 11 月)

1 議案審査結果等

(1) 委員会

① 平成 27 年 12 月定例会 (3 議案) (12 月 9 日審査)

No.	議案名	審査結果
1	舞鶴市文化振興条例制定について	可決すべきもの (全員賛成)
2	舞鶴市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する 条例制定について	可決すべきもの (全員賛成)
3	舞鶴市文化施設条例の一部を改正する条例制定につい て	可決すべきもの (全員賛成)

② 平成 28 年 3 月定例会 (4 議案) (3 月 15 日審査)

No.	議案名	審査結果
1	舞鶴市実費弁償条例の一部を改正する条例制定につい て	可決すべきもの (全員賛成)
2	舞鶴市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する 条例制定について	可決すべきもの (全員賛成)
3	舞鶴市火災予防条例の一部を改正する条例制定につい て	可決すべきもの (全員賛成)
4	舞鶴市勤労者福祉センター条例の一部を改正する条例 制定について	可決すべきもの (全員賛成)

③ 平成 28 年 6 月定例会 (1 議案) (6 月 17 日審査)

No.	議案名	審査結果
1	指定管理者の指定について(舞鶴市勤労者福祉センタ ー)	可決すべきもの (全員賛成)

④ 平成 28 年 9 月定例会 (付託議案なし)

(2) 予算決算委員会分科会 (※当該議案に係る所管事項)

① 平成 27 年 12 月定例会 (1 議案) (12 月 9 日審査(質疑等))

No.	議案名
1	平成 27 年度舞鶴市一般会計補正予算(第 3 号)

② 平成 28 年 3 月定例会 (3 議案) (3 月 15 日審査(質疑等))

No.	議案名
1	平成 27 年度舞鶴市一般会計補正予算(第 4 号)
2	平成 28 年度舞鶴市一般会計予算
3	平成 28 年度舞鶴市貯木事業会計予算

③ 平成28年6月定例会(2議案)

(6月17日審査(質疑等))

No.	議案名
1	専決処分の承認を求めることについて (平成27年度舞鶴市一般会計補正予算(第5号))
2	平成28年度舞鶴市一般会計補正予算(第1号)

④ 平成28年9月定例会(3議案)

(9月16日審査(質疑等))

No.	議案名
1	平成27年度舞鶴市一般会計決算の認定について
2	平成27年度舞鶴市貯木事業会計決算の認定について
3	平成28年度舞鶴市一般会計補正予算(第3号)

2 委員会の開催

No.	日時	議題
1	平成27年11月27日(金) 午前11時6分 ～午前11時11分	(1) 委員長の互選について(決定) (2) 副委員長の互選について(決定)
2	平成27年12月9日(水) 午前10時53分 ～午前11時50分	(1) 議案審査(3議案) (2) 閉会中の継続審査について(決定) (3) 1年間の活動計画について(計画の決定)
3	平成28年3月15日(火) 午後4時9分 ～午後4時55分	(1) 議案審査(4議案) (2) 閉会中の継続審査について(決定) (3) 監視機能の充実について(監視対象の決定) (4) 調査視察について(視察先・内容の決定)
4	平成28年6月17日(金) 午前10時20分 ～午前11時52分	(1) 議案審査(1議案) (2) 平成27年繰越明許費について(執行機関からの説明、質疑) (3) 閉会中の継続審査について(決定) (4) 委員会視察結果報告について(先進地視察に係る概要説明及び各委員の所感の発言) (5) 市内現地視察について(視察先・内容の決定)
5	平成28年9月23日(金) 午前11時48分 ～午後12時2分	(1) 閉会中の継続審査について(決定) (2) 委員派遣について(委員長を全国育樹祭に派遣することを決定)
6	平成28年10月11日(火) 午後1時29分 ～午後3時41分	(1) 新たな舞鶴市総合計画・後期実行計画の進捗状況について(執行機関からの説明、質疑、各委員の評価の発言) (2) 個別計画の進捗状況について(執行機関からの説明、質疑、各委員の評価の発言)
7	平成28年11月4日(金) 午後1時30分	(1) 1年間の活動実績等について(決定)

3 委員会活動計画に係る取り組み

(1) 重点事項

- ① 京都舞鶴港の振興に関する調査研究を行う。
- ② 商店街の振興に関する調査研究を行う。
- ③ 雇用促進に関する調査研究を行う。

(2) 監視項目

① 新たな舞鶴市総合計画・後期実行計画

編・章・節	監 視 項 目
1・1・1	<p>1 京都舞鶴港を活かした産業の振興</p> <p>(1) 多目的国際ターミナル・舞鶴国際ふ頭を核とした物流の拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 航路網の充実 ② 港湾道路の整備促進 ③ プロモーション活動の強化 <p>(2) 関西における日本海側の玄関口・京都舞鶴港を活用した人流の拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> ① クルーズ客船の寄港誘致 ② 京都舞鶴港発着クルーズの促進 ③ 国際フェリー航路の開設 ④ 東アジア圏との経済交流の促進 <p>(3) 港の賑わい創出</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 港湾用地等の利用促進 ② ふ頭機能の見直し <p>(4) 国際拠点港湾の実現</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 日本海側拠点機能の充実
	<p>2 商工業の振興による経済規模の拡大</p> <p>(2) 新たなブランド事業の創出・新たな挑戦の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ③ 空き店舗利活用及び商店街事業者の新たな取組に対する支援 ⑤ 異業種、高等教育機関等との連携による商店街機能の強化 <p>(4) 新しい動きを促す産業基盤の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 企業立地を効果的に促進するための基盤整備 ② 中心市街地の機能向上と商業施設等の立地への適正な対応 <p>(5) 企業誘致の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 誘致インセンティブの充実 ② 誘致企業に対するフォローアップの充実

② 個別計画

計画の名称	舞鶴市鳥獣被害防止計画
計画期間	平成 26 年度～平成 28 年度
監視項目	<p>2. 鳥獣による農林水産業等に係る被害の防止に関する基本的な方針</p> <p>(1) 被害の現状</p> <p>(2) 被害の傾向</p> <p>(3) 被害の軽減目標</p> <p>(4) 従来講じてきた被害防止対策</p> <p>(5) 今後の取組方針</p> <p>3. 対象鳥獣の捕獲等に関する事項</p> <p>(1) 対象鳥獣の捕獲体制</p> <p>(2) その他捕獲に関する取組</p> <p>(3) 対象鳥獣の捕獲計画</p> <p>4. 防護柵の設置その他の対象鳥獣の捕獲以外の被害防止施策に関する事項</p> <p>(1) 侵入防止柵の整備計画</p> <p>(2) その他被害防止に関する取組</p> <p>5. 被害防止施策の実施体制に関する事項</p> <p>(3) 鳥獣被害対策実施隊に関する事項</p> <p>(4) その他被害防止施策の実施体制に関する事項</p> <p>6. 捕獲等をした対象鳥獣の処理に関する事項</p> <p>7. その他被害防止施策の実施に関し必要な事項</p>

※評価に係る意見は別紙 1 のとおり

(3) 先進地視察

No.	日程	視察先	調査内容
1	平成 28 年 5 月 16 日 (月)	群馬県渋川市	中心市街地・商店街の支援制度について
2	平成 28 年 5 月 17 日 (火)	新潟県新発田市	中心市街地活性化事業奨励支援事業について
3	平成 28 年 5 月 17 日 (火)	山形県酒田市	酒田港の振興について

※報告内容は別紙 2 のとおり

(4) 市内現地視察

No.	日 程	視 察 先	調 査 内 容
1	平成 28 年 7 月 11 日 (月)	東地区商店街	商店街の現状について
2	平成 28 年 7 月 11 日 (月)	西地区商店街	商店街の現状について
3	平成 28 年 8 月 9 日 (火)	小阪金属工業(株)	G L M 社との共同事業について
4	平成 28 年 8 月 9 日 (火)	国土交通省近畿地方整備局舞鶴港湾事務所長	京都舞鶴港の現状について

※商店街の現状について

商店街団体の案内により、東地区・西地区の商店街を歩きながら現状について視察

※G L M社との共同事業について

ベンチャー企業との共同で電気自動車を製造することとなった経緯や実際の製造工程などを視察

※京都舞鶴港の現状について

船による海上からの視察を行った上で、府・市の担当部署を交えて意見を交換

(5) その他委員会活動

① 経済消防委員会勉強会

日時：平成 28 年 4 月 22 日（金）午後 3 時から

内容：京都舞鶴港及び商店街について執行機関から説明を受けて現状把握

② 経済消防委員会打ち合わせ会

日時：平成 28 年 10 月 6 日（木）午後 2 時から

内容：10 月 11 日開催の委員会（議題：新たな舞鶴市総合計画・後期実行計画及び個別計画について）の進行等について確認

4 申し送り事項等

特になし。

5 その他事項

(1) 平成 28 年意見交換会（経済消防班）について

①開催日時：平成 28 年 7 月 20 日（水）午後 7 時から 9 時まで

②開催場所：舞鶴市役所 本館 4 階 議員協議会室

③テーマ：商店街の振興について

④対象団体（参加人数）：東舞鶴商店街連盟（2 人）、舞鶴商工振興会（2 人）、舞鶴クリエイティブアソシエーション（2 人）、KOKIN（2 人） 合計 8 人

⑤傍聴者数：10 人

⑥申し送り事項等

特になし。

※意見交換会に係る班会議を計6回開催

班会議：2月19日、4月22日、6月17日、7月11日、8月5日、10月11日

※報告内容は別紙3のとおり

委員名簿（7人）

委員長	谷川真司	創政クラブ議員団
副委員長	伊田悦子	日本共産党議員団
委員	伊藤清美	創政クラブ議員団
委員	今西克己	新政クラブ議員団
委員	上野修身	新政クラブ議員団
委員	松岡茂長	鶴翔会議員団
委員	松田弘幸	公明党議員団

【参考】新たな舞鶴市総合計画・後期実行計画及び個別計画に対する
各委員の評価に係る主な意見（平成28年10月11日 経済消防委員会）

1 新たな舞鶴市総合計画・後期実行計画

（京都舞鶴港を活かした産業の振興及び商工業の振興による経済規模の拡大について）

- ・ 観光客の増加が期待される中で、その受入体制についてもしっかりと確立していただきたい。
- ・ 関西圏、中京圏にとっても大きな経済の発展に寄与するものであり、効果的な取り組みであると考えている。今後も継続して事業を展開いただき、その中でも、ポートセールス、プロモーション活動等は極めて重要であると考えため、さらに力を入れていただきたい。
- ・ クルーズ客船という資源を生かさない手はないと考えており、その乗客や乗務員をいかに舞鶴市内の商店街や観光地に誘導するかが最大のテーマであると思うことから、今後、その点に努力していただきたい。
- ・ コンテナ貨物の減少やプレジャーボート、放置艇のしっかりした対策が望まれる。国際コンテナ等の見通しがつけば、港湾道路の整備も促進されると思う。クルーズ客船については、相当なPR、誘致活動が行われていることを評価する。今後、新たな展開が予定されている中京圏の企業誘致活動に期待する。
- ・ 経済原理が働くシビアな競争の中で舞鶴港の優位性をPRしていくという非常に困難で苦勞の多い業務をハード・ソフト両面にわたって努力されていることを評価する。市民や観光客が港に親しむまちのイメージをつくり上げていくことも必要ではないかと考えるため、港湾管理者と連携して低未利用地の利用促進などに取り組んでいただきたい。
- ・ 商工業の振興に対しては、きめ細やかな補助制度やインセンティブの充実に広く手を尽くされていることを評価する。商店街の活性化は重要な取り組みであるが、インターネットによる購買が普及してきている中で、住民にとって今のような形態の商店街でいいのか、これからの商店街はどうあるべきか、時代の先を読んだ対応が必要な時期に来ているのではないかと考える。
- ・ 日本海側拠点港選定に伴い、クルーズ船の寄港も増えているが、物流面も考慮した港の整備や道路の整備も必要と考える。
- ・ 近年、地元のスーパーの撤退がある中で、買い物難民が生まれつつあると考えており、中心市街地の機能向上と商業施設等の立地には適正に対応いただきたい。

2 個別計画

（舞鶴市鳥獣被害防止計画について）

- ・ なかなか有効な手立てがないというのが現実ではあるが、今後も前向きに対策を進めていただきたい。狩猟免許の取得に対する補助制度が有効に生かされるように、猟友会とも連携して取り組んでいただきたい。
- ・ 捕獲を担う猟友会が高齢化しており、事故の防止対策とあわせて、後継者の育成にも取り組んでいただきたい。

- 数字を見ると被害が減っていない状況であるが、いろいろな手を使って被害防止対策に取り組まれていることは理解している。駆除だけではなく防護柵の設置も重要であり、資金のほか地元の協力体制も必要であると考え。また、近年増えてきている鹿の対策を含めた研究を進めていただきたい。
- 被害の面積や金額について、実態はもっと多いと考える。これに加えて耕作者の精神的ダメージがあるため深刻な問題であり、早急な対策が求められる。ICTの活用のほか、新しい技術を取り入れるなど、今後もさらに積極的に防除・捕獲に取り組んでいただきたい。

調 査 視 察 報 告 書

平成 28 年 6 月 17 日
経 済 消 防 委 員 会

日 程	平成 28 年 5 月 16 日 (月) ~ 18 日 (水)
視 察 先 及 び 調 査 項 目	群馬県渋川市 (16 日午後 1 時 ~ 3 時) ・ 中心市街地・商店街の支援制度について
	新潟県新発田市 (17 日午前 9 時 ~ 11 時 30 分) ・ 中心市街地活性化事業奨励支援事業について
	山形県酒田市 (17 日午後 3 時 ~ 5 時) ・ 酒田港の振興について
参加委員等	谷川眞司委員長、伊田悦子副委員長、伊藤清美委員、今西克己委員、 上野修身委員、松岡茂長委員、松田弘幸委員
調査概要	<p>群馬県渋川市 対応者：商工観光課長、同課主幹、同課主査</p> <p><中心市街地・商店街の支援制度について> 群馬県は本州の中心に位置し、渋川市は又その中心にある街で 78400 の人口があり、伊香保温泉の街として知られている。 渋川市には商店会連合会があり、昭和 60 年当時は、商店会が 11 会と 495 店舗であったが平成 26 年には 7 商店会と 135 店舗に減少した。 平成の当初に、3 つの商店会の中心市街地区画整理事業を行い、店舗の外観も三角ファサードの意匠登録を進めてきたが、今は、空き店舗が目立つ状態である。 その後、平成 21 年に、10 年間を目標期間と定めた、「渋川市中心市街地活性化プラン」前期計画 16 プロジェクトを作成し、平成 27 年 3 月に見直され後期計画を作成されている。 空き店舗対策として「渋川駅前通り空き店舗対策特別委員会」を設けた。 「渋川市まちなか空き店舗出店者支援事業補助金助成」事業を実施し、駅前と、右に連なる商店街、総延長 400 メートルを最重点実施地域 (防災重点対策地区) に指定し、店舗改装費の補助と、家賃補助、を実施している。 財源としては、国の交付金と市の財源をあてて支援をしている。 市で行う空き店舗の活用では、市内に 4 つの高等学校があり、高校生の放課後自習室「すたでいばんく」を設置した。 また、平成 27 年 10 月、駅前に「しぶかわ名産品センター」を開設した。運営は「市物産振興協会」が行っている。 商店街の近く駅横に、駐車場を確保し、伊香保温泉客の回遊ができればと考えている。 今後の課題としては、伊香保温泉に年間 100 万人の観光客がおとずれられ、これらの観光客を、駅前通り商店街に流れるような仕掛けづくりを考えていかなければならない。 空き店舗対策として、新規出店に対し改修補助をしてきたが、今、中心市街地には、スーパーがあまり無く、買い物難民が生まれる状態となっている。 新規事業では 28 年度から、今ある店舗に対し、「店舗改修補助事業」の予算付けを考えている。</p>

中心市街地の活性化というのは、どこの自治体においても永遠の課題になってきている。
諦めることなく、施策を企画、実施、検討をし、商店街の皆様と共に進めていきたいと考えている。

新潟県新発田市

対応者：商工振興課まちなか活性化係長、同課主事

<中心市街地活性化事業奨励支援事業について>

中心市街地商店街は、1.4キロの商店街で新発田駅前から、新潟方面へのびている。

商店街の空き店舗率は、昨年5月の調査で27パーセントであった。220件中、60件が閉店をしている。

駅前に、県立新発田病院を新築、旧県立新発田病院の跡地に、図書館と、大学の寮2棟を建設した。街の真ん中に現在、新庁舎を建設中であり来年1月オープン予定となっている。中心市街地に人が集るよう考えている。

「新発田市中心市街地活性化推進条例」を制定、3ヶ月以上の空き店舗が対象で3年以上継続できること、工事代と備品代が助成の対象で、工事は市内の業者に依頼すること。

これまでの助成実績は21年度～27年度まで48店舗に対し助成を行った。

内訳として、飲食22店舗、小売8店、サービス行12店、と事務所等。

28年度から方向性を変え、個人資産にならないようなランニングコスト、家賃、光熱費、リース料を応援していこうということで進んでいる。

山形県酒田市

対応者：商工港湾課港湾空港交通主幹、同課港湾空港係長

<酒田港の振興について>

山形県唯一の重要港湾である酒田港は、最上川河口に、約500年前開かれたと伝えられ、現在、3カ所に港があり、3港区でなりたっている。

「本港地区」は、漁船、プレジャーボート船舶を係留し、周辺地域には石油化学、物流、造船関係の企業が立地、「外港地区」は平成12年7月に国際コンテナターミナルとして供用を開始し、国際貨物取り扱いの拠点港となっている。

コンテナ貨物取扱量は平成26年13799TEUとなっている。

「北港地区」は昭和40年から整備されリサイクルポートの拠点地区になっている。

平成23年(2011)11月 日本海側拠点港にリサイクル貨物で選定された。

平成15年リサイクルポートに指定されたのを契機に7社だった立地企業が、リサイクル関連企業9社、エネルギー関連企業5社が新たに立地。

リサイクル貨物は指定前に比べて3倍に伸びている。

平成28年 舞鶴市議会意見交換会報告書

経済消防班

開催日時	平成28年7月20日（水）午後7時～午後9時		
開催場所	舞鶴市役所 本館4階 議員協議会室		
テーマ	商店街の振興について		
対象団体	東舞鶴商店街連盟・舞鶴商工振興会・舞鶴クリエイティブアソシエーション・KOKIN		
参加人数	8名	傍聴者数	10名
出席議員 (役割分担)	谷川眞司（座長・挨拶）	伊田悦子（司会）	伊藤清美（記録）
	今西克己（記録・報告）	上野修身（報告）	松岡茂長（資料） 松田弘幸（資料）
内容	<p>【概要】</p> <p>上野副議長の挨拶、谷川座長の挨拶のあと、出席者の自己紹介に引き続き、谷川座長から3月定例会の報告、商店街の振興対策における意見交換会の趣旨説明を行い、その後商店街の振興についてそれぞれの立場で、現状、課題、考え等の意見交換を行った。</p>		
	<p>【意見交換会の趣旨】</p> <p>舞鶴市議会は、現在、議会活性化についての取組みをしている。これは、市民に開かれた議会、また、二元代表制として合意形成のできる議会を目指しており、市民の皆様から多くの意見を聞く機会を議会として持つことが必要と認識し、その考えのもと、この意見交換会を開催させていただく。</p>		
	<p>【意見交換会に入る前の挨拶と現状】</p> <p>東舞鶴商店街連盟理事長は、昔250店舗あった商店が現在では、高齢化が進み、ほぼ三分の一にまで減少している。若い人に入ってもらっても、補助金が切れたら店を閉鎖してしまう悪循環になっている。</p> <p>担い手である若い人にいかに繋げるかが課題で、新しい人に入っただけ、意欲のある持続可能な商店街をつくっていただきたい。</p> <p>舞鶴商工振興会長は、極めて厳しい状況にある。西舞鶴では、7商店街から4商店街になってしまった。昭和30年代が最も繁栄した頃で良かった。店舗数が現在では、六分の一になっており、空き店舗は54店舗もあり、全体の3割になっている。</p> <p>舞鶴クリエイティブ副理事長は、商店街だけでは現状として無理がある。若い人の考え、若い人の力で社会現象を起こすような取り組みが必要と考える。たとえば、艦コレのように風を吹かすことを考えている。インターネット上で拡散させるなどいろんな仕掛けをしていく。</p> <p>KOKIN代表は、この街が好きだ。街を楽しむ8名位の任意団体で活動している。レンタルスペースを活用して人が滞留するような拠点作りが必要である。チャレンジカフェを開店し、街を楽しんでもらえるネットワークを広げて行く。</p>		
	<p>【意見交換】</p> <p>商店街の現状は、高齢化が進み担い手がないのが現状である。対策は、人をいかに街中に誘導するか、いかに担い手を作っていくかに尽き</p>		

<p>る。景観に考慮した商店街を創生していくことが大事である。</p> <p>商店街の復活が大事である。今の商店街はアーケードだけが財産になっている。ネット商売でも負けている。商店街に来てもらうには、空間を作る。空間がないから人が来ない。早くビルセンターを撤去し、五条公園を整備して振興を図る。誘客は旧海軍を切り口にする。</p> <p>商店街にどうやって入ってもらうかに尽きる。ひとつの方法として、百田商店街をつくり、そのことを SNS 等で発信する。</p> <p>海・山・川の三点セットがある舞鶴が好きだ。30代が頑張っ商店街に戻って来てもらえる魅力ある舞鶴にする。</p>
<p>【クルーズ客船の観光客の誘客に向けた意見交換】</p> <p>大いに期待している。誘客については、お茶、琴、和装など日本の文化そして舞鶴の持っている良さを表現して誘客している。</p> <p>観光客が舞鶴で見たいものは海上自衛隊だと思う。旧海軍も売りにしていくことが大事であり、このためには、WiFi の整備が大事である。</p> <p>いかに東西の商店街に足を向けてもらうかにかかっている。地方創生の中で工夫していきたい。</p>
<p>【商店街の仕掛け作りに関する意見交換】</p> <p>行政依存は駄目である。自力で何ができるか。舞鶴は最初赤レンガでスタートし、海軍の資源で育った街。艦コレで大成功した。SNS 上でアクセス数 20 万ダウンロードにもなり、舞鶴が聖地化された。旧日本海軍四軍の日本遺産が有効なコンテンツビジネスになるし、それが聖地ビジネスになる。これが街づくりの仕掛けでありチャンスになる。</p>
<p>【意見交換の終わりにあたって】</p> <p>地元の皆さんの元気がないといけない。一例として予算なしで旧海軍を売りでやる。迷路を作り、旧海軍の秘宝を QR コードでゲットし、商店街をコースに入れて街へ人をいざなう。例えば、海軍レストランをオープンさせ、艦コレをやり、フェイスブック、ツイッターなどの SNS でツールとして発信すれば、有効なコンテンツとなり誘客できる。近隣市町以外の人連泊で舞鶴に来てくれる。現に三連泊で多くの人舞鶴に来た。</p>
<p>【意見交換のまとめ】</p> <p>多くの貴重なご意見を頂戴した。従来の固定観念に捉われずに新しい発想のもとに、今日皆様からいただいたご意見を今後の議会活動に活かしていく。</p>